

研 究 計 画 書

2020年1月31日作成

研究課題名	START-Jを使用した依存症開放病棟退院者のリスク評価の試み
研究代表者	コ・メディカル部心理科 瀬底 正有
共同研究者	コ・メディカル部心理科 中里 容子
研究期間	倫理審査承認後～2020年3月31日（分析等含む）

背 景	<p>構造的専門家判断 (Structural Professional Judgment;SPJ) ツールの一つである Short-Term Assessment of Risk and Treatability(START)は一般精神科領域における活用を視野にいれ作成されたツールであり、「ソーシャルスキル」や「精神状態」、「物質使用」、「治療反応性」などの20項目について脆弱性とストレングスの両面から評価し、自殺や物質乱用等の暴力以外の問題行動を含むリスクのマネジメントを目指すものである。本邦においては、菊池ら (2018) により日本語版 (START-J) が作成されており、予測妥当性が確認されている。</p> <p>依存症治療は「失敗を繰り返しながら学んでいく」(松本,2012) プロセスと言われており、眼前の再飲酒や再使用を予防することだけでなく、愛着や自尊心といった心理学的な課題への長期的な観点での対応や改善が重要となるが、物質使用にともなう暴力や自殺のリスクの高さは兼ねてより指摘されてきており、回復を支援していく上でそういった多様なリスクを踏まえた治療戦略が必要とされると考えられる。</p> <p>これまで依存症領域において SPJ ツールを活用した報告はないが、SPJ ツールの依存症領域での活用について模索することは有用と考える。</p>
目 的	START-Jを使用した依存症病棟退院者のリスク評価の有効性について検討する基礎的資料とすること
対 象	<p>2018年11月26日から2019年9月12日までの間に当院依存症開放病棟に入院し同病棟の集団心理プログラムに参加し、かつ退院後当院にて外来フォローをした依存症患者20名を想定する。</p> <p>〈除外基準〉</p> <p>a.依存症心理プログラムへの参加回数が3回未満もの</p> <p>b.ギャンブル障害等、物質以外の依存症の主診断がついているもの</p>
方 法	<p>1) 調査項目</p> <p>①START-J 集団心理プログラムを運営する公認心理師2名が、研究対</p>

	<p>象者の退院時を基準として、プログラム中の行動観察と入院期間中の電子カルテ情報を元に協議し、評定する。</p> <p>②対象者の退院後 6 ヶ月間の再飲酒/再使用、問題行動、再入院を電子カルテ上の記載から抽出する。問題行動の基準は、①自傷・自殺、②他害行為、③規則違反等の逸脱行為、④治療中断とし、程度によらず記載が見られた場合はカウントをする。</p> <p>2) 分析 想定される対象者数が少ないため統計的処理は行わず、START-J 得点の合計点等と、再飲酒/使用や問題行動、再入院の頻度等の関連や傾向について分析する。</p> <p>3) 同意の取得 本研究は電子カルテ情報に基づいた後方視的研究であり、対象者への侵襲や不利益は想定されないことから、個人情報の保護に十分な留意をした上で、個別に対象者の同意を得ることなく実施する。</p>
倫理的配慮	<p>1) 研究等の対象とする個人の人権の擁護（プライバシーの保護など）</p> <p>a.研究データは外部の関係者がアクセスできない電子カルテ用のコンピューター内にフォルダ及び電子ファイルに専用パスワードをかけて保存し、研究代表者および共同研究者のみがアクセスできるよう制限する。</p> <p>b.学会発表等公表する際は、対象者の個人の特定につながる、年齢や入院日等の情報は全て削除し個人が特定できないよう加工した上で行う。</p> <p>c.情報収集に伴って知り得た個人情報は守秘義務を守る。</p> <p>2) 研究等によって生じる個人の安全性・不利益に対する配慮 本研究は後方視的なカルテレビュー研究であり、対象者に新たに負担をかけることはない。また、本研究で得られた情報を治療や介入に直接的に利用することはないため、対象者の治療はなく、対象者への不利益は生じない。</p>
文献	<p>1) Webster,C.D., et al(2009). <i>SHORT-TERM ASSESSMENT OF RISK AND TREATABILITY(START)</i>.BC Mental Health and Adiction Services (菊池安希子他訳 (2018). START 「心配な転帰」のリスクと治療反応性の短期アセスメント 星和書店)</p> <p>2) 松本俊彦 (2012) 薬物依存とアディクション精神医学 金剛出版</p>